

INFOPRO2006 トーク&トーク

「学術情報の流通・利用と著作権」

著作権のあり方が大きく変わりつつあります。学術情報の発表や提供の形態はデジタル化が進みインターネットが不可欠となっています。また、学術研究成果の著作権の帰属をめぐる議論も国際的に高まっています。このような中で、学術研究の領域では、知的財産の保護と学術流通の推進、両者のバランスある革新が期待されています。著作権法の理念を踏まえて、将来を見据えたバランスのととり方や課題などを、理論と共に実務者の立場で意見交換したいと思います。

電子出版、電子ジャーナルは電子投稿を前提とし、電子投稿は学術機関リポジトリの潮流にと繋がっていますので、機関リポジトリや電子出版などと著作権との関わりについても紹介して頂く予定でいます。また、オープンアクセスの普及やクリエイティブ・コモンズの考え方と実践、最近では学会誌の著作権についてこれまでの方針を変更する学会も出てきていますのでその背景や目的など、幅広い話題を提供し、話題提供者とフロアとのフリートークの場にしたいと考えています。

2006年11月17日(金) 10:00~12:30 みらいCANホール

座長挨拶 真銅解子(情報科学技術協会副会長、東レ(株))

【概論】著作権と著作権を巡る最近の話題(仮題)

時実象一(愛知大学文学部)

【話題提供1】出版から配布・流通・利用に関わる著作権問題(仮題)

植村八潮(東京電機大学出版局)

【話題提供2】PROQUEST,UMIの経験、先例など(仮題)

小島陽介(プロクレスト・インフォメーション・アンド・ラーニング日本支社)

【話題提供3】機関リポジトリの事例と問題点など(仮題)

荘司雅之(早稲田大学図書館)

【話題提供4】学会誌にまつわる著作権取扱の変更とその背景(仮題)

平井邦造(情報科学技術協会副会長、(株)ジーサーチ)

休憩(11:35~11:45)

話題提供者やフロアを交えたフリーディスカッション